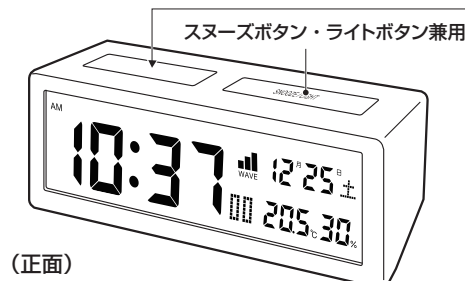




# 1 時刻を合わせる

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



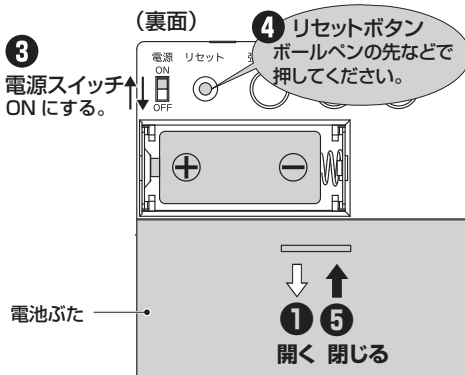
(正面)

●液晶表示は見る角度によって、見えにくくなったり、ムラに見えることがあります。

## 電池を交換するときは

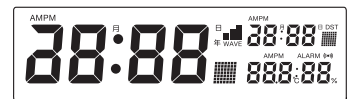
電源スイッチをOFFにしてからCR123Aを交換し、手順③に進んでください。

電源スイッチをONにしたときとリセットボタンを押したときに「ピ」と鳴ります。

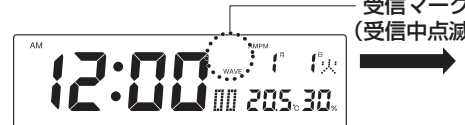


## 【受信の流れと表示】

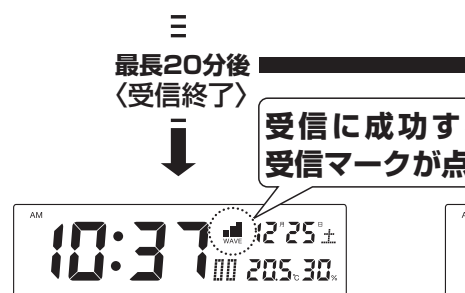
〈リセットボタンを押した直後〉



〈受信開始〉



※電池を入れた直後およびリセットボタンを押した直後は、2008年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。



(受信に成功したときの表示例) 受信マークは受信成功後、24~25時間点灯

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

## 電波を受信しにくい環境

- つぎのような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。
●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
●金属製の雨戸やブラインドの近く
●ビルの地下など
●高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
●朝夕の時間帯、雨天のとき
●家電製品やOA機器の近く
●スチール机等の金属製家具の上や近く

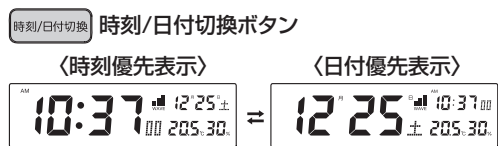
## 表示面の照明

時計上部にあるスヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねていますので、ボタンを押すと表示面が約3秒間照明されます。照明時は正面やや上方より見てください。他の方向から見ると読めないことがあります。

## 表示の切り換え 時刻/日付切換ボタン、12/24h切換ボタン

### 時刻/日付優先表示切り換え

時刻/日付切換ボタンを押すと、時刻と日付の表示位置を切り換えることができます。



### 12時間制/24時間制表示切り換え

12/24h切換ボタンを押すと、AM/PM表示付き12時間表示と24時間表示が切り換わります。



※つぎのようなときは切り換えができません。

- 電波の受信中 ●アラームが鳴っているときやスヌーズ中 ●アラーム時刻や現在時刻を設定しているとき

## 温度・湿度表示

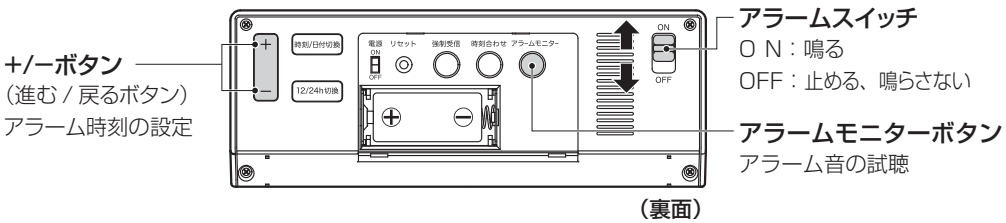
センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。
測定範囲を超えたときの表示とその意味 ※アラームスイッチがONのときは温湿度を表示しません。
温度 [HH.H] 50℃より高温 [LL.L] -9.9℃より低温
湿度 [HH] 95%を超える [LL] 20%未満 [-]測定不能(温度が5~50℃の範囲外)

※本製品は室内用ですので、室内の温湿度の計測以外の目的では使用できません。また厳密な温湿度管理を行う用途には適していません。

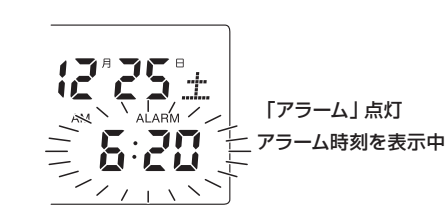
## 電池の交換について 早めに交換して液もれを防ぎましょう

電池からの液もれにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、つぎのをお守りください。
●液晶表示が薄くなったり、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。

# 2 アラーム機能の使い方



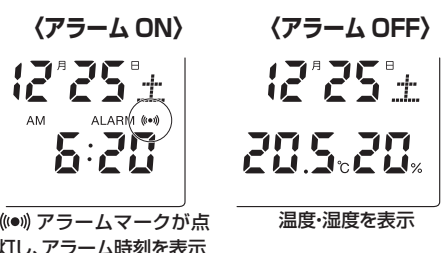
## ■ アラーム時刻の合わせ方



〈表示例〉アラーム午前6時20分 アラームスイッチOFF

◆AM(午前)/PM(午後)の表示に注意 表示されていない場合は24時間制の表示です。

## ■ アラームのON/OFF設定



- ①+または-ボタンを押す 「アラーム」の文字が点灯し、アラーム時刻が点滅します。
②アラーム時刻を合わせる +または-ボタンを押してすぐに離すと、1分進んだり戻ったりします。押しつづけると早く変わります。
③アラーム時刻合わせを終る およそ5秒間ボタン操作をしない。

アラームスイッチ ON : 設定時刻にアラームが鳴る
▶アラームマーク(●)が点灯
アラームスイッチがONのときは、アラーム時刻が表示されます。温度・湿度を確認するときは、アラームスイッチをOFFにしてください。
アラームスイッチ OFF : アラームを止める、鳴らさない
▶アラームマークが消灯し、温度・湿度を表示。

## ■ アラーム音の試聴.....(アラームモニターボタン)

アラームモニターボタンを押すとアラーム音が約2分間鳴ります。アラームが鳴っているときに再度アラームモニターボタンを押すと停止します。

## アラームオートストップ機能.....(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約2分間で終了します。

## スヌーズ機能.....(止めてもまた鳴る)

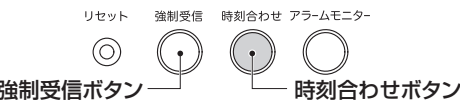
アラームが鳴っているときに、時計上部にあるスヌーズボタンを押すと、アラームマーク(●)が点滅し、約5分間アラームが停止し、また鳴りだします。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止し、アラームマーク(●)は点灯表示になります。

## アラームご使用上の注意

アラームマーク(●)が点灯しているときは、アラームスイッチがOFFにされるまで毎日アラームが鳴ります。

# 3 電波を受信できない場合

- 朝までそのままにしておく 一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手で時刻合わせをして一晩そのままにしておく受信できる可能性が高くなります。
●場所を変える/受信をやり直す 電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波送信所に向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。



受信できない場合は、下記の操作でご使用になれます。

### ■ 手動での時刻の合わせ方

- (1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。
(2)西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。
▶+または-ボタンを押して数値を合わせます。押しすぐ離すと1つ単位に変わり、押し続けると連続して変わります。
▶時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。
●電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。
【電波受信機能のON/OFF操作】参照
●約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている時刻に設定して、手動時刻合わせを終了します。
●電波を受信できない場合の時間精度は、平均月差±30秒になります。
●時刻表示は12/24時間制がありますので、時刻を合わせるときに注意してください。
●電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。
●アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても、切り替わりません。

## 電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF (無効にして手動で時刻を合わせる)
リセットボタンをおよそ1秒間隔で3回押してください。
▶押すタイミングは「ピ」と鳴ったらすぐに押す。
○受信機能がOFFになるとリセットボタンを押しても「ピ」と鳴りません。
○カレンダーおよび時刻は手動で合わせてください。
○操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときは操作を繰り返してください。

## 標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

操作例. 2010年12月25日 午前10:37に合わせる



- ①時刻合わせボタンを約2秒間押しつづけると、西暦年が点滅します。
②+または-ボタンで「年」を「2010」に合わせ、時刻合わせボタンを押して確定します。



- ③+または-ボタンで「月」を「12」に合わせ、時刻合わせボタンを押して確定します。



- ④+または-ボタンで「日」を「25」に合わせ、時刻合わせボタンを押して確定します。



- ⑤+または-ボタンで「時」を「10」に合わせ、時刻合わせボタンを押して確定します。



- ⑥+または-ボタンで「分」を「37」に合わせます。このときに、+または-ボタンを押すたびに秒は「00」秒に設定されます。時刻合わせボタンを押して設定を終わります。

## 強制受信とリセット操作

### 強制受信ボタン

場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。
つぎのようなときは受信を開始しません。
●アラームが鳴っているときやスヌーズ中
●手動でアラーム時刻または時刻を設定している最中

### リセットボタン

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。
リセット直後は、2008年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00に初期化されます。受信機能がONのときは受信を開始します。